

知事と大臣との意見交換ポイントペーパー(周産期医療について)

【検討ポイント】複数府県で提案

1. 現状の正確な把握

的確な処方箋を描くため、周産期医療システムに関する全国的な実態調査の実施

2. 人材の確保対策

周産期医療を担う医師の効果的な確保策が必要

専門医研修の充実、臨床研修医や若手医師が従事しやすい環境整備

3. 医療リスクの軽減にかかる制度創設

無過失補償制度の早期創設

専門家による診療行為に係る死因究明制度の早期創設

4. 施設整備の充実に対する支援

N I C U の増床につながるソフト、ハード両面の支援策の実施

ハイリスク分娩加算対象の拡大・適用日数の延長、長期入院患児に対応した算定期間の延長、診療報酬点数の引き上げ

総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターの整備・運営に係る支援

後方支援病床の整備に係る支援

5. 国民に対する周知と環境整備

妊婦健康診査の必要性やかかりつけ医と大規模病院の役割分担について全国レベルでのキャンペーン実施

妊婦健康診査に対する市町村財政への支援拡大

【関連する検討ポイント】

独立行政法人国立病院機構の病院が、周産期医療を継続できるよう国の責任において行うこと(岐阜県)

産科・婦人科の救急患者が周産期医療施設に過剰な負担をかけていることから、産婦人科に特化した二次医療レベルでの輪番制等の制度化(新潟県)